

シミュレーションモデル適用事例シート

大分類	工事	小分類	工事車両	シミュレーションモデル名	AVENUE				
概要	適用事例名	箕面トンネル交通工事車両検討							
	目的・概要	箕面トンネルからの工事車両(トラック)が一般街路に与える影響を評価する。							
	本事例におけるモデル適用上の特徴	箕面トンネル(工事現場)へ入出庫する工事車両の挙動を AVENUE によって再現。							
対象範囲及びネットワーク	対象範囲	白鳥交差点周辺(約 500m×300m)	対象時間帯	平日 7:00~17:00					
	評価対象時期	現況(平成 11 年)							
	対象道路網	主要地方道							
	ネットワーク規模	ノード数	4	リンク数	4	起終点ノード数	4	総トリップ数	約 18000 台
		一般街路ネットワーク		交差点数	0	信号交差点数	1	道路区間数	4
		自専道ネットワーク		分岐部数	—	出入口数	—	道路区間数	—
	特記事項								
	(ネットワークの概略図面を添付)								
	入力データ	道路データ	単路部	リンク長、車線数、リンク容量、ジャム密度、自由流速度					
交差点部			飽和交通流率、右折専用レーン長、交差点内滞留台数						
合流部									
信号制御		設定パラメータ	信号現示、オフセット						
		作成方法	実測データを用いる						
交通需要		設定単位	OD 交通量						
		作成方法	平成 11 年調査の交差点内方向別交通量を用いる						
		空間単位	道路端点、工事車両出入口						
	時間単位	1 時間単位、10 時間							
車両属性区分	乗用車、大型車の 2 種類								
その他									
モデル設定項目	スキャン方式	periodic scan 方式、1 秒/1 スキャン							
	パケットサイズ	1 台/パケット							
	経路選択原理	固定経路							
	特記事項	経路選択の余地のないネットワーク形状							
再現性検証	キャリブレーション	パラメータ	各交差点流入部の飽和交通流率						
		方法	断面交通量が等しくなるようにパラメータを調整						
	検証方法	断面交通量、滞留長を用いた検証							
	検証用データ取得方法	交通量調査、滞留長調査							
出力データ	1) 区間平均遅れ時間								
	2) 滞留長								
記入者	所属機関・部署	(株)熊谷組 土木本部 社会システム部 交通システムグループ							
	電話	03-5261-5526	FAX	03-5261-9350	HP	http://www.kumagaigumi.co.jp/feature/its/escote.html			
公表文献・資料等									